



★ 業務紹介 ★

第40回危険物保安技術講習会

事故防止調査研修センター

危険物保安技術協会では毎年、消防職員及び都道府県で危険物行政に携わっている職員を対象に、最新の危険物行政等に係る情報提供を目的として、危険物保安技術講習会を開催しています。今年は第40回となり、7月17日・18日の2日間、科学技術館サイエンスホールで開催するとともに、その内容をオンデマンド配信として約1ヶ月半に渡って配信しました。

基調講演には、横浜国立大学総合学術高等研究院特任教員（准教授）の中山穰先生をお迎えし、「エネルギーシステムの火災リスクと安全性」と題してご講演頂きました。次世代エネルギーとして注目されている水素を取り巻く現状を踏まえ、その危険性や事故対応に関わる消防職員の教育訓練など、持続可能社会でのエネルギーシステムのリスクについて詳しく解説して頂きました。

また、総務省消防庁から危険物保安室長、特殊災害室長をお招きし、最新の危険物行政等の状況についてご講演頂くとともに、当協会からは、屋外タンクに係る安全対策や地下タンクの評価業務、DX技術を活用した保安管理など、当協会が取り組んでいる最新情報の提供を行いました。

科学技術館サイエンスホールに訪れた受講者は約100名。又、オンデマンド配信には300名以上の申し込みがあり、危険物行政を担う多くの方が聴講されました。

受講者アンケートでは、講義内容が具体的で大変参考になりました等の声のほか、オンデマンド配信については業務の都合に合わせた視聴や複数人での視聴、繰り返し視聴ができる等、好評価を得ることができました。

これからも、危険物行政に携わる方々の業務支援の一助となるよう、より有意義な内容での開催を続けていきます。



＜会場の様子＞



＜オンデマンド配信＞